

環境創造 学部	学科	氏名	熊切 峻也
学年 3	学籍番号 13171063		

梅棹忠夫氏についての話を聞いて、良い意味で日本人離れな人だ、たんだと感じた。学生時代から既に登山、探検に参加していると見る限り、とても積極的で、好奇心がある方であつたのだろうと思った。それは多分、今の日本人に足りていないものでもあるのでは、とも思った。現代日本人は安定性を求めあまり、そこまで新しいことへのチャレンジ精神がないという印象がない。そのことを、彼の著書から学ぶことができないのではないだろうか。

2016年 1月13日(水) 4限 科目名 比較文化Ⅱ

環境創造 学部	学科	氏名	熊切 俊也
学年 3	学籍番号 13171063		

アザーンの「朗誦」やクルアーンの「朗読」など、我々の感性では音楽としか思えないが実際には音楽ではないということについて、イスラム教で奨励されてはいない音楽を、実態はちがうにしろ限りなく近いものを生み出すことにより、教義の穴をすりぬけていると解釈した。

それにより、信仰と自分の欲を両立させていると考えると、こう言っているのは適切ではないかもしれないが、「おる賢さ」というものを感じた。だがそれは決して好きくないものではなく、新たな文化、風習などの芽吹く種となるものでもあるのではないかと考える。